

令和3年度児童発達支援自己評価表(事業所)

公表： 令和4年1月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 や 体制 整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		基準は満たしているが、親子での登園率が高い日は狭く感じる。プレイルームは重ならないように工夫して保育をしている。
	職員の配置数は適切であるか。	○		基準は満たしているが、職員が休みを取得した場合など職員不足を感じる。
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		一部バリアフリーでないところもあるが、歩行等の練習の場になっている。 また、構造化は個別で対応している。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日消毒をしている。 歩行器などは移動や遊びの妨げにならないように片付けている。
業務 改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所の目標実現に向けて、全職員、目標設定を行い、半年の振り返りと年度末の振り返りを行い、業務の改善を目指している。
	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートを行い、その結果に対して職員会議で改善に向けた話し合いをしている。保護者からのご意見、苦情に対して速やかに対応し、改善につなげている。
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		自己評価表及び保護者評価をホームページで公表している。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今年度、第三者評価を実施した。 改善点を話し合い、できるところから取り組んでいる。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		対面での研修は資格取得の研修に参加している。 感染症対策のため、ウェブ研修を中心に参加している。
適 用	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		円城寺式乳幼児分析的発達検査と本園の独自のアセスメントシートを活用し児童発達支援計画を作成している。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		今年度より本園の独自のアセスメントシートの活用を始めた。

適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに沿って具体的な支援内容が設定されている。
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		クラス担任で話し合っている。
適切な支援の提供	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	○		合同保育の時には、どうしても同じ遊びになりがちになる。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適時組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		朝礼で話している。
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		できる限り、振り返りや情報共有を行っている。
	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録ソフトを活用して日々の支援内容を記録し。検証・改善につなげている。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		見直しはしているが、見直しは十分ではない あまり出ていないときが多い。 把握していない。
関係機関や	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心に参加し、担任が様子をつたえている。
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		必要に応じて連絡している。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	○		必要に応じて連携をしている。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	○		必要に応じて連絡を取っている。

保護者との連携	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		アフター支援で訪問し、その後も機会があれば様子を聞いている。
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		毎年、4月に支援学校との間でアフター支援を行っている。 豊橋特別支援学校を中心に連携している。
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。		○	コロナの影響もあり、今は出来ていない。
	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		管理者を中心に参加している。
保護者への説明責任	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		その都度伝えるようにしている。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援(相談、勉強会、ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	○		リハビリスタッフは行っているが、それ以外はない。保育もあってはいいいと思う
	重要事項説明書をもとに運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		質問の時間を設けている。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		行っているが十分とは言えない。
保護者への説明責任	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		修繕など、常に行なっている。

は等	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		あゆみだよりを発行している。
	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○		
	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日本語が母国語でない保護者に対しては翻訳ツールなどを活用している。 丁寧にゆっくり伝えるようにしている。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		毎年、福祉まつりを実施していたが、コロナ感染症の影響でできていない。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員のマニュアルの理解の徹底と保護者への周知必要。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○		
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	アクシデント・インシデント事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		朝礼で報告。事業日誌に記入。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のチェックリストを行い、自身の支援等を振り返る機会をつくっている。
	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		